

令和6年度新潟県立国際情報高等学校2学年海外研修業務委託仕様書

※この仕様書は、令和6年度新潟県立国際情報高等学校2学年 海外研修業務委託業者選定プロポーザルにおける、必要な事項を定めたものである。

1 研修日程 令和6年11月30日(土)～12月7日(土)8日間 (予定)

2 研修目的

- (1) 海外での生活と現地学生との交流を通して、英語運用能力を高める。
- (2) 異文化での生活を体験し、現地の人と関わる中で、異文化や外国語に対する理解を深め、グローバル化の進む国際社会で有為な人材に必要な国際感覚を育てる。
- (3) 事前準備や研修中の交流を通して、自国及び他国の言語や文化について理解を深める。
- (4) 探究学習で取り組む研究について英語で発表、質疑応答を通して新たな気づきを得る。

3 旅行先

北米(アメリカ) オセアニア

4 参加人数 北米(アメリカ) 生徒 約30名 教員2名(予定)
オセアニア 生徒 約30名 教員2名(予定)

5 費用 海外へ旅行する場合、生徒1人あたり、360,000円以内
(税込み、事前・事後研修費を含む / 燃油サーチャージは含まない)

6 旅行企画について

(1) 必須条件について

- (ア) 提案する海外の旅行先は、1都市以上とする。
- (イ) 旅行先での事故、病気(新型コロナウイルス感染症含む)への感染時のサポート体制を充実させること。
- (ウ) 旅行先には治安がよく、安全面について心配がないプランとすること。
- (エ) 移動を2日間程度とし、できる限り長いホームステイが望ましい。
- (オ) 引率教員の人数を踏まえ、各方面受け入れ先の高校を2校以内とすることが望ましい。
- (カ) 事前研修、事後研修も十分行えるものとする。

(2) ホームステイについて

- (ア) ホームステイの形態と、現地での体験活動内容について、詳しく提案すること。
- (イ) ホストファミリーの決定時期と、トラブル等があったときの対応についても提案すること。
(ホストファミリーの変更の仕方も含めること)
- (ウ) ホストファミリーと学校のバディは、同じかどうかを明示すること。(同じ場合と違う場合のメリットやデメリットをそれぞれあげること)
- (エ) 週末は、ホストファミリーと過ごす形態にすること。

(3) 希望する活動について

- (ア) ホームステイ（原則、生徒1人に1家庭が望ましいが、受け入れ先の状況によっては複数でも可能とする）
- (イ) 現地学校での体験授業（学校訪問をし、バディとともに、授業に参加する。複数の学校に分かれて実施することも可能）
- (ウ) 探究活動の取り組みや日本文化について英語で発表（英語での質疑応答、意見交換の場を持つこと）
- (エ) 現地学校生徒との交流会
- (オ) 体験活動（地域訪問やレクリエーション、異文化体験・国際交流などの教育活動）
- (カ) 事前研修、事後研修（英語学習、国際及び現地理解に関する研修、生徒と保護者へのオリエンテーション、現地交流校生との、オンラインや電子メールによる交流、研修報告の作成など）

(4) 安全・事故対策について

- (ア) 事故防止及び安全対策
- (イ) 通常及び緊急時の体制（連絡方法、医療、現地支店網、現地スタッフ）

(5) その他

- (ア) 上記仕様以外に、業者独自の付加価値・サービスを提案すること。
- (イ) 渡航までの事前研修の内容、回数などについても、できるだけ詳しく提案すること。
- (ウ) 予定通りの渡航ができなくなりそうな場合のキャンセル料に対する考えを、できるだけ詳しく説明すること。

7 見積

- (1) 事前・事後研修及び現地研修一切にかかる費用を見積もること
- (2) 費用変動（燃油等）があるものについては、その旨を明記すること
- (3) 見積書の金額は引率教員あたり費用及び生徒一人あたり費用を別に作成すること。
- (4) 提示した内容以外にかかる費用（個人的費用、例えば旅券取得、査証、その他必要と考えられる諸費用等）についても、参考として示すこと。